

## 産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数 (ア)	評価対象外地区数 (イ)	評価対象地区数 (ア-イ)	成果目標の平均達成率 ※	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
福岡県	19	16	3	65.2%	1	有	1	<p>令和3年度の評価対象の地区である3地区のうち、目標を達成している地区2地区、未達成が1地区となっている。</p> <p>未達成となった地区は、イチゴ及びアスパラガスに係る集出荷貯蔵施設、低コスト耐候性ハウスを整備し、収益力の高い産地育成を図った。しかし、いちごは、春先の高温で品質が低下、アスパラガスは、令和2年秋の台風の影響で、春芽の収量が減少。さらに、令和3年8月に大雨が続いたことによる浸水の影響により、病気の発生及び品質低下等で収穫量が低下した。</p> <p>いちごについては栽培管理の適正化による収量増加や品質向上に、アスパラについては夏場の高温抑制対策や栽培に必須とされる補植技術の確立について、関係機関と連携して支援を行っていく。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し65.2%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、福岡県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、1地区である。</p> <p>&lt;参考&gt;評価対象地区の概要&gt;</p> <p>【野菜】(3地区)</p> <p>令和3年度の評価対象の3地区のうち、目標達成している地区は2地区、未達成が1地区となっている。販売額増加の目標が未達成となった1地区の主な要因は、気象条件、台風や大雨の影響による病気の発生及び品質低下等で収穫量が低下した結果による未達成である。</p>